



# 殺そ剤を使わない新たな野ネズミの防除対策の検討 — 誘引餌の効果と捕殺器の設置方法について —

道総研 林業試験場 保護種苗部 保護グループ 南野一博

## 研究の背景・目的

現在、林業試験場では、殺そ剤を使わない新たな野ネズミの防除対策の一つとして、自動リセット式捕殺器を用いたエゾヤチネズミの駆除方法を検討しています。この捕殺器は誘引餌でネズミをおびき寄せネズミが捕殺器内部のトリガーに触れることでトラップが作動します。そこで本発表では、付属の誘引餌のエゾヤチネズミに対する効果と捕殺器の設置方法について報告します。

## 研究の内容・成果

### 1. 誘引餌の効果

☑ 付属の誘引餌でエゾヤチネズミを誘引できるのか？



図1 誘引餌と自動リセット式捕殺器



調査地：美唄市防風林



餌場：幹に餌を塗布

○ 付属の誘引餌でエゾヤチネズミを持続的に誘引できることがわかりました。

### 2. 設置方法の検討

☑ 捕殺器をどのように仕掛けたらいいか？

エゾヤチネズミが立ち上がったときの鼻先までの高さを測定したところ平均11cmでした。このことから捕殺器を垂直に設置した場合、トリガーに届かずトラップが作動しない可能性があることがわかりました(図4)。

☑ 捕殺器を傾けることでエゾヤチネズミを捕殺できる？

11月11日～12月7日(27日間)にかけて、防風林内に捕殺器3台を地際から45度程度傾けて設置した結果、標識を付けたエゾヤチネズミ18頭のうち、9頭が捕殺されました。

○ 捕殺器を地際から傾けて設置することでエゾヤチネズミを捕殺できることが確認されました。

他の動物への影響：本捕殺器によりエゾヤチネズミのほかエゾアカネズミとドブネズミが捕殺されました。また、ドブネズミによる捕殺個体(エゾヤチネズミ)の持ち去りが3例確認されました。

## 今後の展開

今後は、防除に有効な捕殺器の配置数や設置期間について検証します。また、錯誤捕獲をはじめ本捕殺器を林内に設置した場合の影響について引き続き調査します。

1. 生息状況調査：5月20日～5月23日(4日間)

エゾヤチネズミ7頭に耳標を付けて放獣し、捕獲地点から各個体の行動圏を推定しました(図2)。

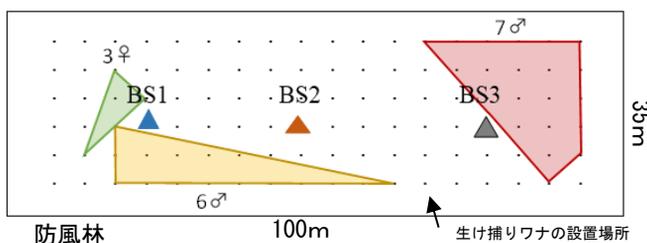


図2 エゾヤチネズミの捕獲地点と餌場の位置

2. 誘引試験：5月29日～

林内に設置した餌場(BS1～BS3：3箇所)に出没するエゾヤチネズミを確認しました(図3)。

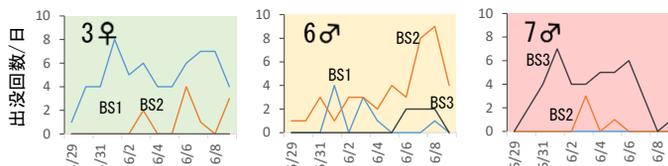


図3 各エゾヤチネズミの餌場への出沒状況

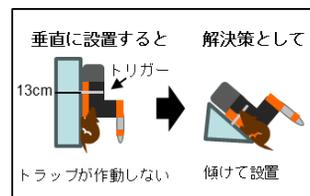


図4 捕殺器の設置方法

